攻撃に悪用される脆弱性を AIで検証するプラットフォーム

高千穂交易

高千穂交易（東京都新宿区、井出尊信社長）は、米国XBOW社とリセラー契約を締結し、自律型ペネトレーションテスト・プラットフォーム「XBOW」の国内販売を開始する。

＜主な特長＞

・実際に悪用可能な脆弱性のみを証拠付きで報告…独立した検証プロセスで、再現性と悪用可能性を確認。誤検知を抑えながら、対応するべき脆弱性と優先順位を明確化する。

・AIエージェントが攻撃経路を自律的に探索及び攻撃…対象のURLや仕様書、APIドキュメントを渡すだけで、エンドポイントや認証フローが自動でマッピングされる。複数のAIエージェントが並行して実際に攻撃を試みることで、単体では見落とされがちな複数の弱点を組み合わせた攻撃経路（アタックチェーン）まで検証する。

・1～2日程度で実施できる継続的・オンデマンドのペネトレーションテスト…従来は数週間かかっていたペネトレーションテストを1～2日程度で実施することが可能（対象の規模・範囲により異なる）。変更やリリースの度に、必要な時にオンデマンドで検証できるので、本番公開前に危険な脆弱性を把握できる。

・Web及びAPIからモバイルアプリまで検証対象を拡大…Webアプリケーション・API・バックエンドにまたがるリスクを攻撃者と同じ視点で確認できる。

・開発者がすぐ修正に移せるレポート…攻撃経路、再現手順、修正方針をセットで提示。開発チームの手戻りを減らすとともに、経営層・監査への報告にも活用することができる。

・スコープ定義と監査ログによるガバナンス…テスト範囲を組織側で定義して、実行された全ての操作を記録・追跡することが可能。SOC 2、ISO 27001、PCI DSS、NIS 2など各種コンプライアンス要件への対応に必要な検証と証跡の取得を支援する。

